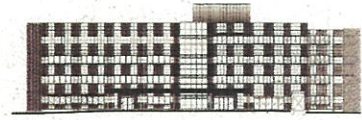


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	行田総合病院第8期増築工事	階数	地上4F
建設地	埼玉県行田市大字持田字東谷	構造	S造
用途地域	指定なし 市街化調整区域	平均居住人員	1,700 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年5月 予定	評価の実施日	2020年6月2日
敷地面積	19,782 m ²	作成者	有限会社ポーム建築設計事務所 高田 哲
建築面積	1,347 m ²	確認日	2020年6月5日
延床面積	4,897 m ²	確認者	有限会社ポーム建築設計事務所 高田 哲



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 107%
③上記②以外の 107%
④上記+ 107%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

音環境	3.3
温熱環境	3.0
光・視環境	3.4
空気質環境	4.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	2.5
耐用性	3.0
対応性	3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.3

建物外皮の	4.7
自然エネ	3.0
設備システ	1.1
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源	3.0
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	2.4
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合	音環境、光視環境、空気質環境、維持管理、資源・マテリアルを基本に中程度の配慮がなされた設計である。	特になし。
Q1 室内環境	光視環境、室内環境において昼光率、昼光制御を中心に配慮された計画である。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	エネルギーにおいて、建物外皮熱負荷抑制を中心に配慮された計画である。	Q3 室外環境 (敷地内)
LR2 資源・マテリアル	資源・マテリアルにおいて、部材の再利用可能性向上への取組を中心に配慮された計画である。	敷地外環境において各評価共中程度の配慮がなされた計画である。
		敷地外環境において、交通負荷抑制、光害の抑制を中心に配慮された計画である。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版

行田総合病院第8期増築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質						2.8
Q1 室内環境			0.40			3.4
1 音環境		3.3	0.15	3.2	1.00	3.3
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音		3.8	0.40	3.6	0.40	
1 開口部遮音性能	T2以上	5.0	0.40	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.3	0.25	3.6	1.00	3.4
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	共用部:2.5%以上、病室:1.25%以上	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口			-		-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御	病室:カーテン+庇	3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気環境		4.4	0.25	4.2	1.00	4.3
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材かつホルムアルデヒド以外のvoc少ない建材使用	5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能			-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視			-		-	
2 喫煙の制御	全館で禁煙が確認されている	5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能			0.30			2.8
1 機能性		2.5	0.40	2.6	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性			-	3.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00		-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.30	2.0	0.40	
1.2 心理性・快適性		3.0	-	3.0	0.50	
1 広さ感・景観			-		-	
2 リフレッシュスペース		1.0	1.00	1.0	0.50	
3 内装計画		3.5	0.30		-	
1.3 維持管理		4.0	0.50		-	
1 維持管理に配慮した設計	内壁面に防汚性の高い建材を採用している。	3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保			-		-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ガルバリウムダクトなど用いて長寿命化を図っている。	4.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性		3.2	0.20		-	
1 空調・換気設備	地震時の部分被害が全体機能に及ばないよう吊り配管を採用	5.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3 電気設備		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性		3.1	0.30	2.6	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり		3.4	0.30	2.2	0.50	
1 階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	0.1 ≤ 壁長さ比率 < 0.3	4.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40			
1 空調配管の更新性		3.0	0.20			
2 給排水管の更新性		3.0	0.20			
3 電気配線の更新性		3.0	0.10			
4 通信配線の更新性		3.0	0.10			
5 設備機器の更新性		3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30			2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	2.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	[BPI][BPI _m]=0.83	4.7	0.20			4.7
2 自然エネルギー利用	1	3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEI _m] = 1.09	1.1	0.50			1.1
4 効率的運用		3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00			
4.1 モニタリング		3.0	0.50			
4.2 運用管理体制		3.0	0.50			
集合住宅の評価						
4.1 モニタリング						
4.2 運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護		3.0	0.20			3.0
1.1 節水		3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減		3.5	0.60			3.5
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ホモジニアスピル床タイル、長尺塩ビシート	4.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上りが容易に分別可能(LGS下地+石膏ボード仕上)	5.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20			3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70			
1 消火剤		-	-			
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPが低い発泡材を用いた断熱材を使用している。	5.0	0.50			
3 冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮		2.4	0.33			2.4
2 地域環境への配慮		3.0	0.33			3.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25			
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3 交通負荷抑制	適切な量の駐車スペースの確保	4.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25			
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1 騒音		3.0	0.33			
2 振動		3.0	0.33			
3 悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40			
1 風害の抑制		3.0	0.70			
2 砂塵の抑制						
3 日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制		4.4	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策がサインと広告物照明の扱いの配慮事項の過半を満足	5.0	0.70			
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			

CASBEE埼玉県

重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	行田総合病院第8期増築工事	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	---------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
2.4	+	2.0	=	4.4	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	素晴らしい 8.0以上    		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	2.4
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	2.4
交通負荷抑制において配慮された計画である。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
光害の制御において配慮された計画である。			

: 入力欄